

国語の傾向と対策

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容	設問形式
A方式 11月1日 問題▶P.21～	第一問	評論	國分功一郎 『暇と退屈の倫理学』	漢字(選択) 空欄補充(接続語・適語選択) 理由把握 指示語の指示内容 内容把握 内容との合致判定
	第二問	評論	田辺聖子 『大阪弁おもしろ草子』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 語句の意味 内容把握 川柳の意味把握 比喩の把握 主旨との合致判定
A方式 11月2日 問題▶P.25～	第一問	評論	日高敏隆 『生物多様性はなぜ大切か?』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 語句の意味 理由把握 内容把握 指示語の指示内容 内容との合致判定
	第二問	評論	井上章一 『大阪的「おもしろおぼはん」は、こうしてつくられた』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 語句の意味 文学史 内容把握 内容との合致判定 筆者の主張
B方式 12月14日 問題▶P.30～	第一問	評論	石井洋二郎 『フランス的思考』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 語句の意味 理由把握 内容把握 論旨との合致判定 題名選択
	第二問	評論	藤原智美 『暴走老人!』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 語句の意味 理由把握 内容把握 内容との合致判定

傾向 すべて現代文からの出題で、基本・標準レベルの問題が中心。

① 出題形式

すべて現代文からの出題で、マークシート形式の選択問題。基本的に四者択一の形式だが、四つ以上の選択肢がある問題や、正解を複数選ぶ問題もふくむ。マーク数は30前後。多くて37問。

② 出題内容

すべて評論からの出題。内容は、経済学と言語学、人間の進化の過程と人文学、思考の違いと現代人の生き方というように多岐にわたる組み合わせとなっている。設問は、漢字や語句など知識を問う出題の後に、読解問題が続くという構成。知識問題での漢字は、同音異字の使い分けを問う。知識問題には文学史もふくまれる。

読解問題は、文中での意味を問う基礎的な問題から、より読解力が必要となる理由把握、内容把握、内容との合致判定、論旨との合致判定などが出題される。そのほか、接続詞の補充、指示語の指示内容、題名選択が問われることもある。

③ 難易度

知識問題、読解問題ともに極端な難問はなく、基本から標準レベルの問題である。

知識問題では、漢字は音が多い漢字に注意して、書き分けができるようにしておくことよい。語句の意味などは、単純な語句の意味が問われているものもあるが、問題文の内容との関連を考えた上で判断すべきものもある。

読解問題は、選択肢を選ぶ根拠が問題文の中に明示されているものがほとんどである。しかし、読解力が大いに試される問いとなる、文章全体から読み取った主旨や論旨を問われる場合は、傍線部周辺だけでなく、文章全体から内容や構成、筆者の意見をとらえる。指示語の指示内容にも注意する。答えた後、指示語の代わりに選択した語をいれ、文意が通るかどうか確認することで、ミスが防げる。また、文章内容や主旨と合わない・間違っている選択肢を選ばせる出題方式が見られることもあるので、設問の指示をよく読んで問題に取り組むようにしたい。

対策 国語に関する総合的な知識と正確な読解力を獲得しよう。

① 論理的な文章に親しもう

物語ではなく、評論のような論理的文章が出題される傾向にある。多くの分野の論理的文章に親しんでおきたい。特に、文学や、日本の社会・文化に関するものに多く触れるとよい。新聞の社説で現代社会の問題を広く知り、興味のある分野の新書を読むとよいだろう。

② 漢字・語句の幅広い知識を身につけよう

漢字、語句の問題は必ず出る。漢字は、同じ音の漢字をふくむ熟語から、傍線部と同じ字を使うものを選ぶ形式なので、日頃から漢字の使い分けに注意しておく。慣用句・ことわざ・四字熟語をふくめ、語句の問題も幅広く出題されているので、常に辞書を引き、意味や用例を確認する習慣をつけよう。

③ 正確な読解力を身につけよう

まず、指示語の指示内容を正確にとらえる、接続語の適切な使い方を身につけるといふ基礎力は必須。指示語と指示内容を矢印で結ぶ、接続語に注意して段落や文章相互の関係をとらえるなど、文章の構造を自分なりに整理して読む習慣をつけ、文章の内容を丁寧に選択肢と照らし合わせるができるようになる。[筆者の主張—比喩や具体例]「対比されている内容」「キーワード」などに注意して、本文から選択肢と関係のある部分を見つけ、選択肢と読み比べること。

④ 多くの類題に取り組もう

問題数をこなすことで実戦力の向上・読解のスピードアップが期待でき、試験に余裕を持てるようになるだろう。